

# 2023年 ハラスメント担当者 養成講座

《ハラスメント担当者向け》

本日の研修について

ダイヤル・サービス株式会社

# 研修のお約束 –WEBツールでの研修編–

- Zoomでの研修は、従来の集合型研修よりも疲れやすいと言われています。

リラックスできる環境で受けられることをお勧めいたします

- 適宜休憩時間をとりますので、休憩時間には体を動かしてみてください。

- 皆さんの身振り手振りが重要なコミュニケーションスキルになります。

少しオーバーにやってみてください（拍手、大きくうなずく、手で○×の意思表示をする、など）

- より良い学びの場となるように、みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

何よりも楽しみながら研修に参加しましょう

- ZOOMで受講する際のエチケット

□参加前にご自分の名前を「**漢字の本名@会社名**」に変更しておきましょう

□講義中・グループワーク中は「**ギャラリービュー**（皆さんが同じ大きさにタイル状に並ぶ）」にしましょう

※「**スピーカービュー**（話している人を大画面にする）」でも可能。

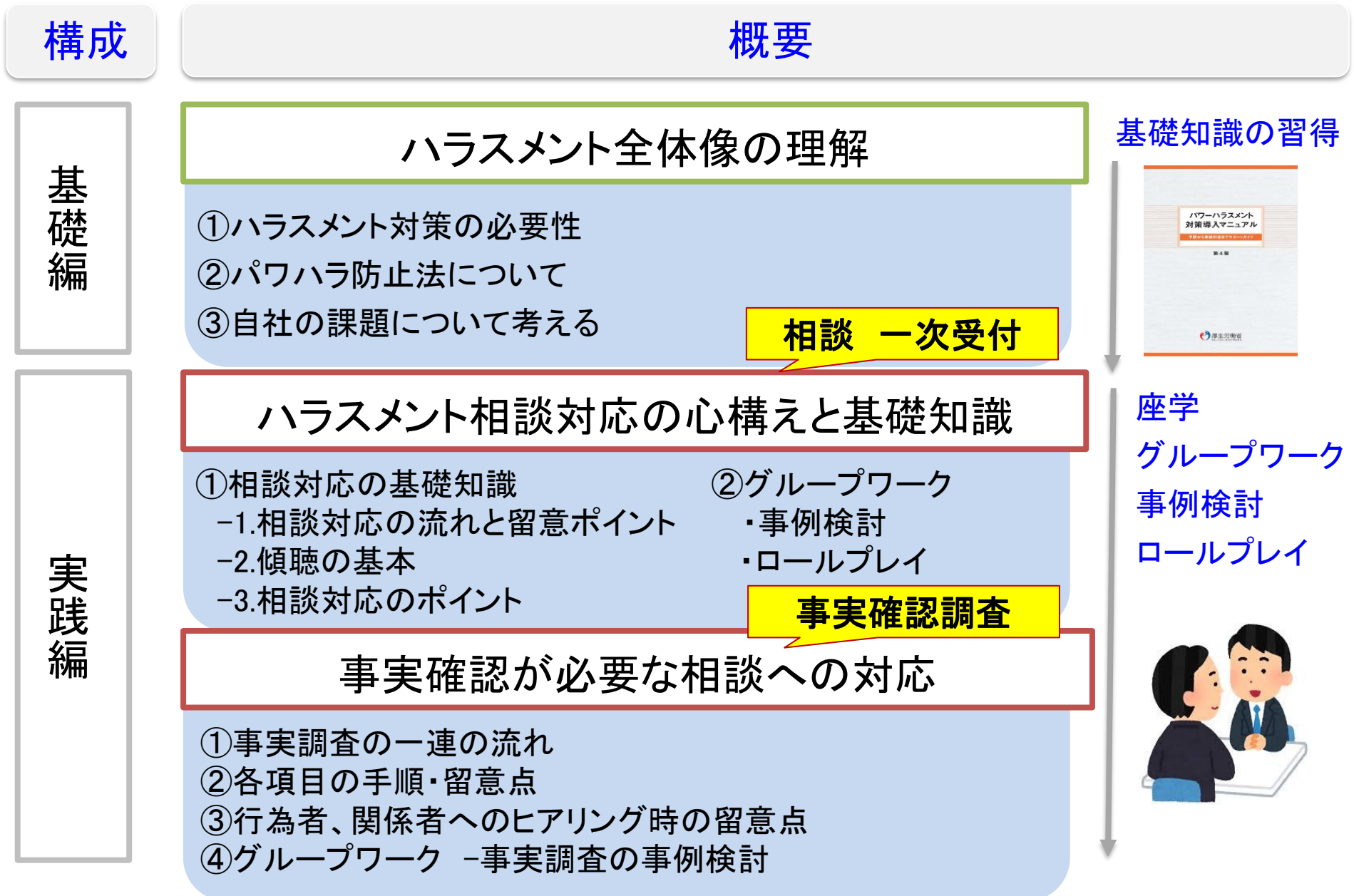
□講義中は「**ビデオOff**」にせず、ご自身が参加していることがわかるようにしましょう

□ご自身が発言する以外（グループワークは除く）は「**ミュート**」にしておきましょう

□**講義中に不具合**（音声が届かない等）があった場合は**ホストに個別チャットでお知らせください**

□**画面に映りこむ背景や音声が気になる方**は、調整しておいてください

# 本研修のカリキュラムと全体像



# 本研修のカリキュラムと全体像



時間の目安	研修プログラム	
9:30～9:45	①本研修について	自己紹介タイム含む
9:45～11:10	②ハラスメントの全体像を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハラスメント対策の必要性</li> <li>■改正労働施策総合推進法（通称：パワハラ防止法）について</li> <li>■自社の課題について考える</li> </ul> <div>Point!</div> 全体像を理解しながら自分の課題を明確化します
休憩(10分)		
11:20～12:20	③ハラスメント相談対応の心構えと基礎知識①	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相談対応の基礎知識               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 傾聴の基本</li> <li>2) ハラスメント相談の対応ポイント</li> <li>3) 相談対応の流れと留意ポイント</li> </ul> </li> </ul> <div>Point!</div> 相談対応時のポイントを押さえ、担当者としての心構えを学びます
休憩(60分)		
13:20～14:50	④ハラスメント相談対応の心構えと基礎知識②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループワーク</li> </ul> ハラスメント相談事例に対する事例検討 およびロールプレイ
休憩(10分)		
15:00～16:30	⑤事実確認が必要な相談への対応を理解する①	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事実確認の一連の流れを理解する</li> <li>■各項目（段階）における手順・留意点</li> <li>■行為者、関係者へのヒアリング時の心構えと留意点</li> </ul> <div>Point!</div> 事実確認を実施するために必要な知識を身に付けます
16:30～17:00	⑥事実確認が必要な相談への対応を理解する②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループワーク</li> </ul> 事実調査の事例を検討する
	⑦ハラスメント担当者交流会	1) 社内の相談体制 2) 困難事例 3) 担当者としての個人的課題 の、いずれかのテーマをもとに他社の担当者とのフリーディスカッションを行います ※守秘義務に留意してお話してください

※時間は目安です。進行により変更する場合がありますのでご了承ください。

# ハラスメント相談対応の心構えと基礎知識

## ハラスメント相談対応の 心構えと基礎知識

## グループワーク (事例検討)

### グループワーク



#### ●グループワークの流れ グループ名: \_\_\_\_\_

##### 1. 事例を読む

・講師が事例を読み上げます。P4「ディスカッションメモ」の①パワハラ6類型と②見立て1)~8)について検討することを念頭におきながら聞いてください。

##### 2. グループワーク 1回目(ディスカッション) \_\_\_\_\_分

ブレイクアウト  
ルーム入室

- ・P4「ディスカッションメモ」を参考に、以下の点を検討してください。  
①パワハラ6類型 ②見立て ③相談の留意点

ブレイクアウト  
ルーム退室

- ・講師が順番にグループに呼びかけます。事前に指名した発表者がグループで検討した主な点を発表してください。

講師解説

- ・検討事項について講師が解説します。

##### 3. グループワーク 2回目(ロールプレイ) \_\_\_\_\_分

ブレイクアウト  
ルーム入室

- ・事前に指名した推進役の方がメンバーの役割(相談者役と担当者役)と実施する順番を決めてください。
- ・推進役の方はタイムマネジメントをお願いします。

ロールプレイ  
実施

- ・決めた順番でロールプレイを実施してください。各\_\_\_\_分
- ・制限時間となったら途中で終了し、順次ロールプレイを開始して下さい。
- ・全員が担当者役と相談者役を体験できるように調整してください。

ブレイクアウト  
ルーム退室

- ・講師が発表者を自由に指名します。ロールプレイでの気づきを発表してください。

※各ブレイクアウトルームに講師が巡回しますが、無視してワークを継続してください。



# 事実確認が必要な相談への対応

## 2.グループワーク（進め方）



## 2.グループワーク（事例検討）

### 1.事例を読む

### 2.個人ワーク（各自でメモ作成）（7分）

- 気になる点 : 見え隠れする背景・相談者の本音・別の問題
- 相談者ヒアリング : 追加質問項目
- 客観的情報 : 収集項目
- 行為者ヒアリング : 確認項目

### 3. グループ討議（ブレイクアウトルーム）（18分）

- 進行役 : 各項目について全員の意見を聞いてください。
- 発表者 : 意見を整理してください。グループワーク終了後に発表していただきます。

### 4.グループ発表・フィードバック